

『「う・ら・ら」で安心おでかけキャンペーン』の成果 —コロナ禍における“マス”と“個別”の両面によるバス利用促進—



山本夏生（東浦町役場都市整備部まちづくり課公共交通係） 大野悠貴（元名古屋大学）

事業概要

愛知県の東浦町運行バス「う・ら・ら」では、2021年2月のダイヤ改正に合わせて、バス利用時の新型コロナウイルス感染症の**不安を払拭して安心感を醸成**し、緊急事態宣言等による各種行動制限によって**低下した外出意欲を再醸成**すべく、従来の防疫対策周知も含めた『「う・ら・ら」で安心おでかけキャンペーン』を展開。

ブランディング マス

・ロゴマークを作成し、取り組みのまとまり感を演出。



防疫対策の周知 マス

・イオンモール東浦でのPR（2021年1月末～2月）や、車内等でのポスター掲示



東浦安心おでかけマップ 2021 マス

- ・2021年4月、町広報誌に折り込んで町内全戸に配布（約15,000世帯）。
- ・町内公共施設や店舗等でも配布したほか、同年8月に実施したアンケートにも同封。
- ・「う・ら・ら」沿線の店舗・施設を紹介するとともに、店舗・施設の混雑状況を記載。
⇒どの時間が空いているか？を示し、**外出に対する安心感を醸成**。
- ⇒店舗・施設職員からのコメントを添え、**顔が見えることによる安心感も醸成**。
- ・防疫対策やバス車両の換気性能、時間帯別バスの混雑状況を記載し、**バス利用時の安心感を醸成**を図った。



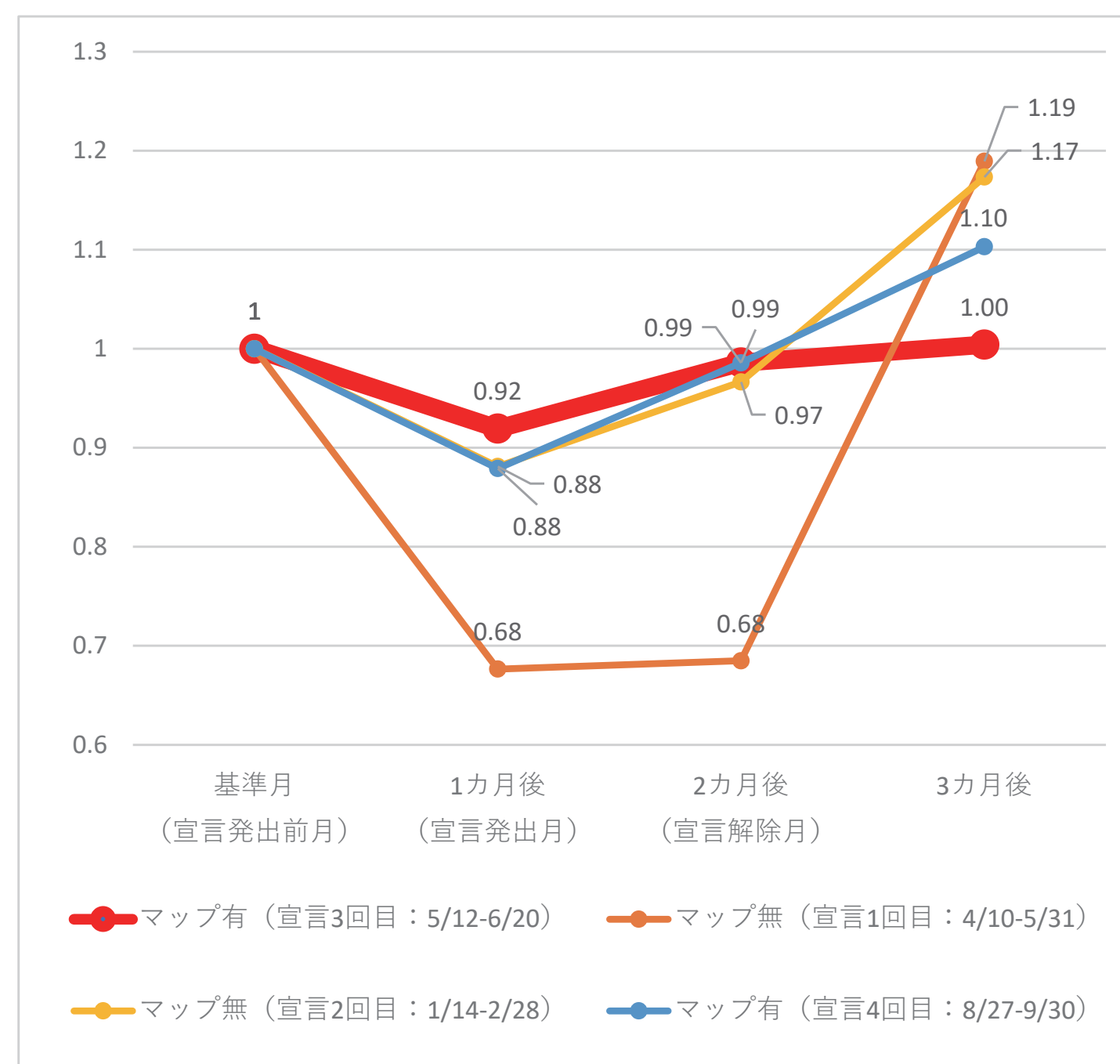
※マップについては、第16回JCOMM発表資料も参照

効果 (1) マップ配布による効果

緊急事態宣言発出前月の「う・ら・ら」利用者数を1として、マップ発行直後の3回目、マップがない過去2回、及びマップ発行から時間が経過した4回目、各回の緊急事態宣言による年度利用者数推移への影響を比較。

マップ発行直後の3回目は、宣言発出による**利用者数の減少傾向が僅かに緩和**。

※まん延防止等重点措置の影響で、3カ月後の上昇率は低下
※4回目も、本来は夏季の需要減でより大きく減少することが予想されるので、減少を押し止めたと解釈もできる。

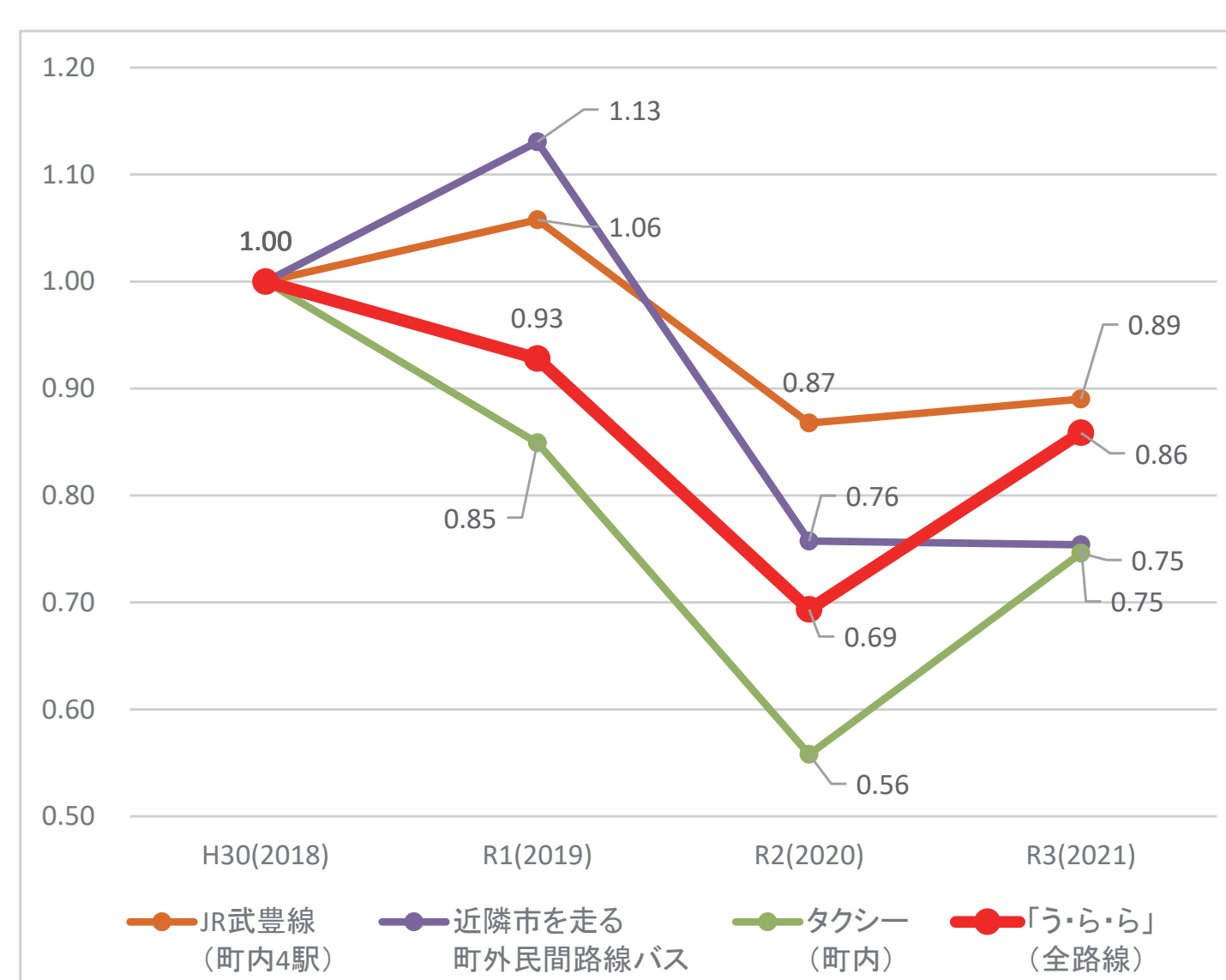


(2) MM 全体による「う・ら・ら」への効果

2018年利用者数を1とし、各交通機関の年度利用者数*推移を比較。

鉄道や近隣市を走る民間路線バスより、**「う・ら・ら」の利用者数は早期に回復**。

※タクシーの回復が、本MMによる効果かは定かではない。



	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
JR武豊線 (町内4駅)	1,963,592	2,076,864	1,704,019	1,747,783
民間バスA社 (町外11路線)	1,222,214	1,381,814	925,657	921,442
タクシー (町内)	19,933	16,927	11,122	14,871
「う・ら・ら」 (全路線)	258,881	240,255	179,539	222,272

★タクシーは「利用台数」 (単位: [人]、タクシーのみ [台])

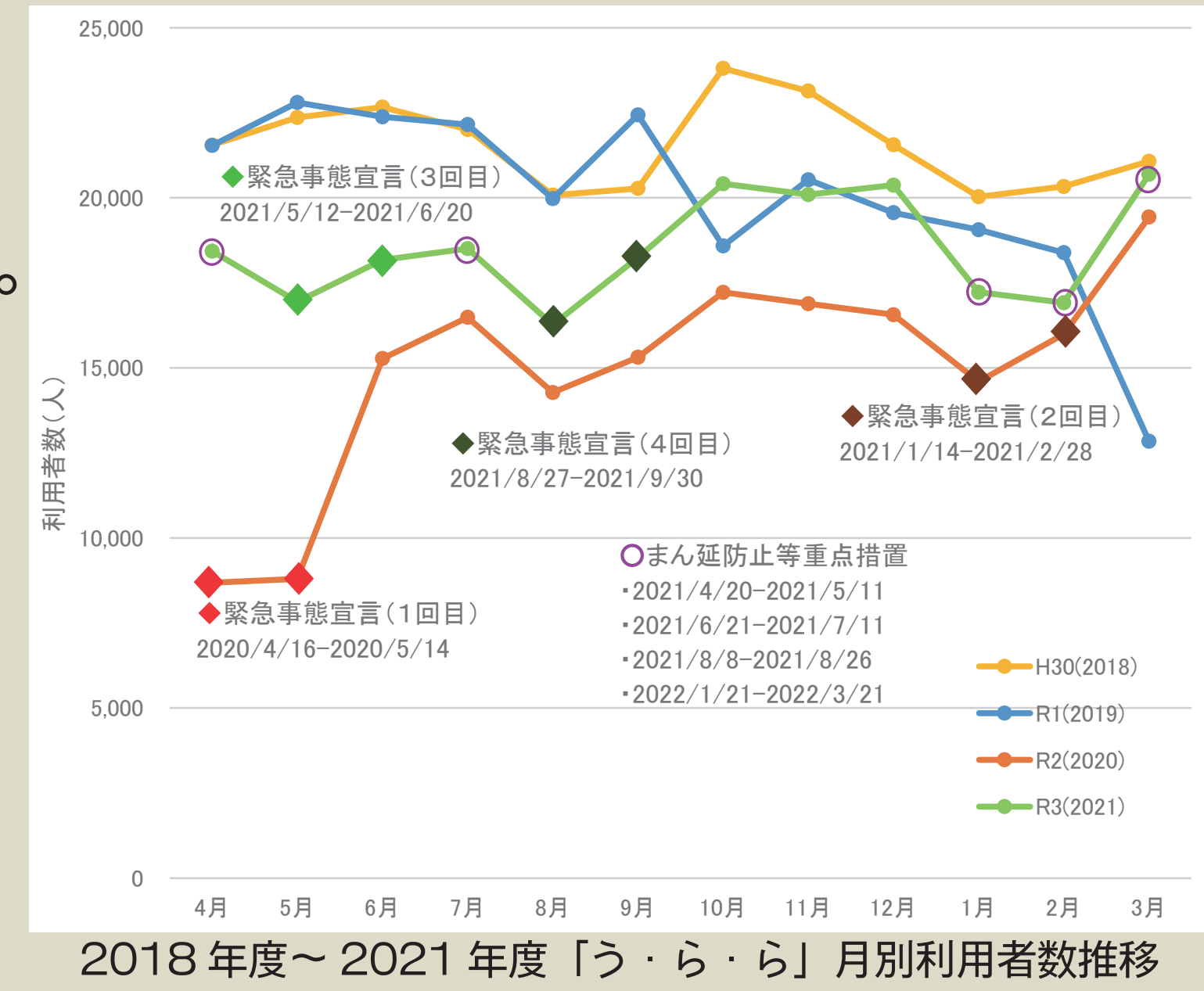
■ 愛知県東浦町の概要

- ・人口：50,404人（2022年7月末時点）
- ・面積：31.14km²（2022年7月末時点）
- ・名古屋市や近隣市のベッドタウンとして発展。町内にはイオンモール東浦（総賃貸面積約5.5万m²）が立地。
- ・町運行バスの他、JR武豊線、知多バス、タクシー。知多市の名鉄河和線巽ヶ丘駅も町民が利用。



■ 町運行バス「う・ら・ら」の概要

- ・1999年4月「東浦町東西連絡バス」として試行運行を開始。
- ・2001年10月「う・ら・ら」運行開始。
- ・2019年10月に環状運転を開始。
- ・利用者数：222,272人（2021年度）
※240,255人（2019年度）
- ・運行委託費：13,713万円（2021年度）
※9867万円（2019年度）
- ・営業係数：952円（2021年度）
※543円（2019年度）



■ 住民ワークショップの開催 個別

■ ワークショップの概要

- ・タイトル「**日々の暮らしに公共交通を“ちょい足し”してみませんか？**」
- ・時期：2021年11月19・20日の2日間かけて実施（各日90分程度）
- ・場所：イオンモール東浦イオンホール
⇒「う・ら・ら」で来場しやすい立地・時間で設定した。
- ・参加者：東浦町内に住む50～80代の男女24名

■ 実施内容

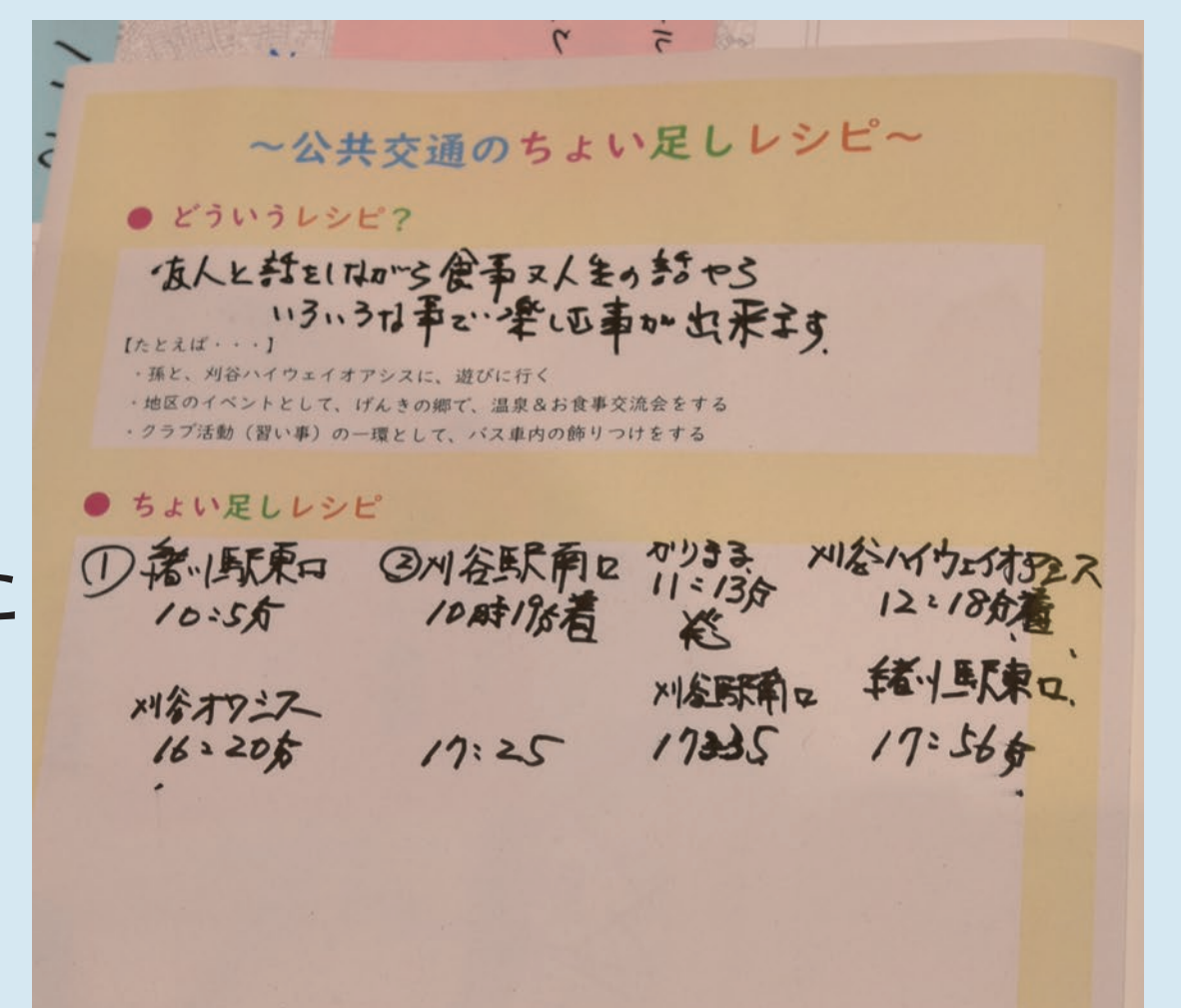
【1日目】本当に大事なおでかけは何？

- 挨拶、趣旨説明
- 普段のおでかけ先のマッピング
・買い物、通院、通勤・通学、それ以外の楽しいおでかけ先にピンを置く
- 話題提供
・おでかけしなくても済んでしまう社会が始まりつつある（オンライン〇〇）
- 車が使えなくなっても、どうしても行きたいところ以外のピンを外す
- 「わたしにとって、大切なおでかけ」は何か？を見直す
・ピンが残った理由を考えてもらう
- 本当に大事なおでかけを、ワークシートに記入



【2日目】私の暮らしに公共交通を“ちょい足し”してみよう！

- 「本当に大事なおでかけ」を公共交通で実行する行動プラン（＝ちょい足しレシピ）を考える
・当町に限らず、近隣自治体が運行するバスの時刻表や路線図も用意。
・「本当に大事なおでかけ」ができなさそうな人、イメージできない人には、周囲の人に向けた「ちょい足しレシピ」の考案や、運営で用意したミッションカードから行動プランを考えた。
- ちょい足しレシピの共有
・テーブルにレシピを並べて、会場全体で共有。
・良いと思うレシピには、シールを貼ってもらう。



例：70代女性の「ちょい足しレシピ」

発展 「路線バスのりつぎ旅」の実施

- ・ワークショップ参加者が考えた行動プランをもとに、町主催のバス利用体験ツアーを実施（2022年7月27日）
- ・「う・ら・ら」から大府市循環バス「ふれあいバス」に乗り換え、おおぶ文化交流の杜を目的地に設定。



当日の様子は、地元ケーブルテレビ局のニュース動画でご覧いただけます！

9月に第二弾を実施予定

